

日本人間で
創設的届出の場合

婚姻届

平成22年1月10日届出

在パライ日本国大使館
総領事殿

受理 平成 年 月 日
第 号
送付 平成 年 月 日
第 号



書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附 票 住民票 通知

(1)	(よみかた) 氏 名	夫 にな る 人		妻 にな る 人	
		がいむ 太郎 氏 名		やまぐち かずこ 氏 名	
	生 年 月 日	昭和45年6月23日		昭和49年10月5日	
(2)	住 所	パライ共和国 コロール州 マライ アパート A 番地 号 世帯主の氏名 外務太郎		パライ共和国 コロール州 ガレバド アパート 2 番地 号 世帯主の氏名 山口和子	
		本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いてください) 東京都千代田区霞が関 2丁目2 番地 筆頭者の氏名 外務一郎		大阪府大阪市南区 谷町 4丁目1 番地 筆頭者の氏名 山口 勝	
	父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄 (他の養父母は その他の欄に 書いてください)	父 外務一郎	続き柄	父 山口 勝	続き柄
		母 良子	次男	母 圭子	長女
(4)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☒ 夫の氏 ☐ 妻の氏	新本籍 (左の☑の氏の人すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 東京都千代田区霞が関2丁目2 番地		
(5)	同居を始めたとき	平成22年1月		(結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)	
(6)	初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)		☒ 初婚 再婚 (☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日)	
(7)	同居を始める前の 夫婦のそれぞれの 世帯のおもな 仕事と	夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻 ☐	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持つている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人 から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年 未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯		
		夫 ☒ 妻 ☒ 夫 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 妻 ☐			
(8)	夫 妻 の 職 業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 ダイビングインストラクター 妻の職業 事務員			
そ の 他	平成 年 月 日 の方式により婚姻成立。 作成の 婚姻証書添付。				
届 出 人 署 名 押 印		夫 外務太郎 (印)		妻 山口和子 (印)	
事件簿番号					

(届出人の連絡先及び電話番号)

証		人	
署 押	名 印	山 川 浩 (印)	ヨウコ サブリナ (印)
生 年 月 日		昭和 7 年 4 月 14 日	1954 年 6 月 15 日
住 所		パナマ共和国コロール州 ミューズ・O・ポート 番地 号	パナマ共和国コロール州 エタライ 番地 号
本 籍		東京都杉並区清水町 1丁目 52 番地 番	パナマ共和国 番地 番

記入の注意

1. 届書はすべて日本語で書いてください。

この届書は長年保存されますので、鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

2. 筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

3. 日本と外国の二つの国籍をもっている人は、日本人として本籍欄を書いてください。

当事者の一方が外国人のときは、本籍欄に「国籍何国」とだけ書いてください。

4. 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで名だけ書いてください。

養父母についても同じように書いてください。

5. □にあてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。ただし、外国人と婚姻する場合にはつけないでください。
外国人と婚姻する人がまだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

6. 届を出す日に同居を始める人は、その日に同居したものとしてその年月を書いてください。

まだ同居を始めていない人は、その他の欄に「まだ同居を始めていない。」と書いてください。

7. 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。

内縁のものはふくまれません。

8. [夫], [妻] にあてはまると思うものに [夫レ], [妻レ] のようにしるしをつけてください。

9. 在留国の法律で婚姻したときは、婚姻した日から3か月以内に婚姻証明書をそえて出してください。この場合は証人欄は書かず、「その他」欄に婚姻成立年月日、婚姻の方式及び婚姻証書作成者の職名を記載してください。

外国文の証明書には翻訳者を明らかにした訳文を添付してください。

当事者の一方が外国人のときは、在留国の法律で婚姻してから出してください。この場合、外国人の国籍を証する書面（旅券写し等）を提出してください。

10. 未成年者が婚姻するときは、父母（養子のときは養親）の同意書を出すか、または父母がその他の欄に同意の旨をを書いて署名押印してください。

11. 届出人や証人の署名は、はっきりとよめるようにそれぞれ本人が書いてください。なお、外国人が外国語で署名する場合は、その「よみかた」をカタカナで併記してください。

12. 夫婦がともに日本人のときは、届書3通（新しい戸籍がつくられる場合に今までと別の市区町村につくりたいときは4通）、夫婦の一方が外国人のときは、届書2通（新しい戸籍がつくられる場合に今までと別の市区町村につくりたいときは3通）出してください。